

【応募用紙】

提出いただいた応募書類（規約・会則等、役員名簿、収支書類を除く）は、活動内容紹介のため、ホームページ上に公開します。**応募用紙・補足資料に個人情報を記載しないようご注意ください。**

1. 応募者概要

氏名または団体名	(ふりがな： よこはまかいようしみんだいがく) ヨコハマ海洋市民大学		
代表者の役職・氏名 (団体の場合)	(ふりがな： かねぎ のぶひろ) (役職) 実行委員長	(氏名) 金木 伸浩	会員数 (団体の場合) (令和3年4月現在) 10名
ホームページアドレス	https://yokohamakaivouniv.wixsite.com/kaiyo	活動開始年月	平成26年8月
活動分野 (複数選択可)	1 川・海・水 2 緑・樹林 3 農業 4 3R 5 環境教育・学習 6 生物多様性 7 地球温暖化対策 8 その他 ()		
環境に関する主な活動内容 (審査対象となる環境活動・取組を箇条書きで記入。行を適宜追加して下さい)	環境に関する主な活動内容 (例) □□の美化・清掃活動、○○の生き物調査、植樹活動、△△の環境教育、食品ロス削減、地産地消 など		※ (もし該当がある場合は、SDGsの目標番号を記入してください)
	・ 海洋に関する活動の情報発信		7,11~17
	・ 海に関する理解・関心の向上		7,11~17
	・ 海洋環境の保全活動		7,11~17
活動地域 (複数選択可)	1 横浜市 () 区 2 横浜市全域 3 その他 (横浜市を中心とした県内沿岸部)		
活動の目的やねらい	「海洋に配慮したまちづくり」に関心の高い市民に参加いただき「各地域に合致した環境活動の提案、地域を巻き込み実施することができる人材の育成＝海洋都市づくりリーダーの育成」(海洋教育デザイナー)を目的としています。		
過去に受けた表彰および受賞年度	(例) 横浜□□賞 (平成○年度)		

※SDGs (持続可能な開発目標) を達成するための活動の中で、環境の保全や環境教育など、環境に関する活動は応募対象となるため、参考までに御記入いただくものです。該当しない場合は記入不要です。

2 最近3年間の主な活動

※「1 応募者概要」の「環境に関する主な活動内容」について、最近3年間の主な活動内容を記入してください。

	活動・取組・イベント等の名称 発行した印刷物等の名称	参加人数、発行部数等	詳細内容
令和元年度	<p>ヨコハマ海洋市民大学講座 (前期、後期)</p> <p>【別添資料】：2019年度チラシ (前期、後期)</p>	全22回 721名	<p>オリエンテーション2回と20回の外部講師を招聘した座学、課外活動 (アクティビティ) で構成されている。「うみをみる・うみからみる・うみのなかをみる」の観点から画一的な学びではなく全方位に学び、自身の活動を見つけ海洋教育デザイナーになる。</p>
令和2年度	<p>ヨコハマ海洋市民大学講座 (オンライン講座・前期、後期)</p> <p>【別添資料】：2020年度講座概要</p>	全11回 569名	<p>【上記同様】</p> <p>コロナ禍によりオンライン講座へ切り替え、回数も減らして活動。前年度に引き続き講座の内容に変更はないが、オンライン化により講師の日程調整がやりやすくなり、より講座の幅が広がっている。</p> <p>【特記事項】当該年度はオンライン講座の実験の意味も含め受講料を無料としたため支出のみ会計報告に計上されているが、実際には支出額を実行委員が負担し支払っている。</p>
令和3年度	<p>ヨコハマ海洋市民大学講座 (オンライン講座・前期、後期)</p> <p>【別添資料】：2021年度チラシ (前期、後期)</p>	全10回 500名 (想定)	<p>【上記同様】</p> <p>コロナ禍によりオンライン講座へ切り替え、回数も減らして活動。前年度に引き続き講座の内容に変更はないが、オンライン化により講師の日程調整がやりやすくなり、より講座の幅が広がっている。</p>

※ 現在活動休止中の場合でも、今後継続して取り組む見込みがある場合は応募の対象とします。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、現在活動休止中の場合には、「詳細内容」の部分にその旨を御記入ください。

3 地域との関わり

	活動・取組等の名称	詳細内容
自治会・町内会との関わり		
学校との関わり	東京海洋大学 横浜市立大学 横浜国立大学	相互の情報提供や広報活動などの連携、講師紹介など。実行委員メンバーに参加いただいている。 小関ゼミとの連携でうみ博を中心に協働してきた。 ヨコハマ海洋環境みらい都市研究会(UDC-SEA) による市民活動との連携先として第1～3分科会に加え第4の分科会を構成している。
他の市民団体との関わり	濱橋会 NPO法人ディスカバークブルー（市外団体）	後援並びに協力。濱橋会は関内外地区に残る運河の活用提言をかかげ活動しており双方の広報協力や情報交換などに努めている。ディスカバークブルーはうみを通して社会課題を解決することを目的としており、私たちの主催する講座と趣旨も近い。両団体とも実行委員として参加いただいている。
企業等との関わり	(株) ルーデンス 地元企業各社	地元企業ルーデンスに事務局を依頼。各種調整事項など地元企業ならではの情報量を活用させていただいている。実行委員にも参加いただいている。 定期航路にない湾内のクルーズなどアクティビティの際、ピア象の鼻から発着する運行会社と連携し、受講生（市民）へ新しい横浜の海の楽しみ方を提言している。 SDGsを講座で取り扱う際には地元企業から講師を選ぶようにし、より具体的な横浜の活動を受講生に知ってもらうよう留意している。地元新聞社のSGDs担当編集長などもお呼びしている。
行政との関わり	政策局 海洋都市 横浜うみ協議会 温暖化対策統括本部	横浜市様より後援いただいている。 うみ協議会様より後援をいただいている。 YES協働パートナー登録団体。
その他、環境以外の分野との関わり	開港5都市景観まちづくり会議	都市デザイン室が事務局を務める、日本が開港した当初の都市（函館、新潟、横浜、神戸及び長崎）の歴史や文化、景観を守るための活動に参加。ヨコハマ海洋市民大学は現代の港町における港町のための市民活動の一つとして参加している。

4 団体の発足経緯／活動を始めたきっかけ、動機

※立ち上げた主体、どのようにして活動に携わる人が増えてきたのか等も合わせ、具体的に記入してください。

※個人の方は、活動を始めたきっかけについて記入してください。

実行委員長は発足当時、横浜港大さん橋国際客船ターミナル指定管理者の統括責任者でした。

当時港湾施設は横浜市民が気軽に足を踏み入れる場所とは言いがたく、イベントなど例外をのぞくと用事のある（船に乗る、見送る）人だけが来る施設でした。

海に突き出た公園としての市民利用を高めるためにまずは大さん橋をより多くの人に知ってもらうことから始め2013年「ダイサンバン大学」という名の自主事業（市民講座）を横浜歴史資産調査会の協力を得て実施しました。そこで感じたのは歴史を活かしたまちづくりに興味のある市民はたくさんいるけれど、横浜の海（環境、仕事、市民としての利用など）について知らない、または興味の薄い人が多いことでした。

この気づきから翌年2014年市民が横浜の海について興味を持ち・学習し・それを日々の生活の中に落とし込めるような講座を指定管理者の自主事業として開催することにしました。それがこのヨコハマ海洋市民大学です。大型客船が着岸しない平日の夜、大さん橋のロビーを会場にして月2回（時には毎週）開催し、座学、ワークショップなどを行いました。

キーワードは簡単に「うみをみる・うみからみる・うみのなかをみる」です。全方位的に海（特に横浜の海）を学び、それぞれが1人でも出来る活動、仲間を増やして行う活動など、実際に行動できる人「海族（うみぞく）・海洋教育デザイナー」を養成します。

市内各種団体との交流も意図しており各団体から講師を招聘し双方にとっての新しい人との出会いも創出してきました。受講生の印象的に残る言葉では「ヨコハマ海洋市民大学に参加してから友達100人増えました」というものがあります。また「家のキッチンが下水道施設を通して海に繋がっていることが理解でき、食品残渣を流す時もふとこれは大丈夫かな？と考えるようになりました」と嬉しい言葉をもらっています。

2015年度で大さん橋指定管理者の業務が終了したため、ヨコハマ海洋市民大学も解散を宣言したのですが、多くの受講生から継続を望む声上がり大さん橋を離れ、実行委員は私を含め全員ボランティア（プロボノ）の団体として活動を継続することにしました。

その後、講座の会場は2016年は万国橋SOKO、2017年は（旧）BankART NYK、2018.19年は象の鼻テラスで開催しています。2020.2021年度はオンライン開催。

数名の変動はありますが当初メンバーの実行委員に受講生が参加してくれて現在の9名となっています。

各年度の始まりにはポスター掲示やフライヤーを会場近隣の住宅へ管理者の許可を得て投げ込み等行いました。しかしこの数年はSNSによる告知の方が効果が高いと分かりfacebookやPeatixによる広報に切り替えています。それらの成果もあり各回平均30~40人の受講生のうち1/3~1/2は初参加の方となっています。参加者は何かしらの海への思いを持って参加されているのでそれを共有し、受け入れられる体制を作るように心がけています。あとは受講生同士でいつの間にか仲良くなってその仲間での活動をするようになっていきます。また卒業生が自分自身の活動を始めており、その方を逆に講師で呼び出すなどより具体的な行動に結びつけるヒントとなっていると考えています。

5 今までの活動

活動の目標・ねらいに対する成果

実行委員会発足以来「自らが考えて横浜の海について活動できる市民を育成する」と言う目標は変わっておりません。また長年に渡る常連の受講生で溢れている受講風景も全く想定しておらず、毎年新入生向けの講座（もちろん複数回受講しても楽しめる仕掛けはしています）を行っています。

その目標の成果は受講生の1/3～1/2が毎回新人であると言う事と延べ700名を超える受講者数に表れていると考えています。新規受講者をどうやって継続受講者に誘導するのかという取り組みも毎回講座終了後に行っています。

講師の関係者で受講した方やネットで市民大学を検索してたどり着いた方が面白いので継続受講する事にしたと言うお声もいただいています。

またコロナ禍で一旦止まっておりますが、リアル開催時は通年の出席率に応じて修了証と海洋教育デザイナーの名刺を発行して終了後の活動の後押しをしています。

生物多様性に関する取組（生物多様性特別賞の選考の参考とします）

※取組の中で、生物多様性に関するものを記入してください。

（冒頭の「応募について」ページにて、「生物多様性特別賞について」に事例を記載しています。）

令和3年度前半、横浜のおさかなマイスター齋藤融氏、WWFジャパン滝本麻耶氏、おさかなコーディネーターながさき一生氏から魚に関する市場の成り立ち、取引される魚の豊富さ、多様な調理法、生物多様性を守るためのサステナブルシーフードへの取り組み、マリンエコラベル、日本国内の地域ごとに異なる多種多様な漁法とその漁獲量管理の取り組みなどを学んできました。講座受講は直接生き物を守る行動ではありませんが海の生物多様性を守る（魚）食生活とはどのようなものなのか学んで来ました。

6 今後の活動方針

※次年度以降の目標や、活動継続のためにどう引き継いでいくのかも含めて具体的に記入してください。

※現在活動休止中の場合でも、今後の活動の見込みや方針について御記入ください。

基本方針・目的は変わりません。横浜の海に対し自らが考えて行動できる人を1人でも多く養成することです。また令和元年に実施した横浜の岸壁すべてを海から見る臨時企画「横浜港岸壁リサーチクルーズ」で撮影された動画による港湾エリアの緑被率や生物多様性に大きく影響する護岸の形状分析など独自に生まれた分科会の継続も予定されています。

このコロナ禍ではオンライン講座の可能性（広域化）も理解できました。

令和4年度はリアル開催にオンライン講座を同時進行させ、より広いエリアに向け横浜発・海の市民大学を展開して行きます（会場は象の鼻テラスと現在調整中）。

また座学だけではなく実際に海へ出かけてのアクティビティも再開する予定です（年2回予定）

7 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

【例】

- 最も注目してもらいたい・評価してもらいたい取組
- 一番成果があがっていると思う取組
- 他の団体と異なる自分たちの強み・独自性
- 取組の過程で、どのような努力・苦労があったか など

【ヨコハマ海洋市民大学の特色】

- ・行政主導でも企業主導でもない組織の市民大学で毎年延べ700名を超える受講生がいる（リアル開催時）。昨年度はコロナ禍により約半分の11回に講座数を減らしたが受講生は550人を超えコロナ禍以前の受講者数を平均で上回っている。
- ・補助金を利用していないので活動に継続性がある（ほぼ受講料収入で賄えている）
（注）2020年度は無料開催でオンライン講座実験をしてきたので除く
- ・実行委員、参加者の声で自由に講師を呼ぶことができ（お仕着せにならず自分たちで作り上げられる）、その講師対象も広範囲に渡っている。昨年は海につながる河川の土木を取り上げたことも。
- ・多くの団体は自分のところに来て欲しいが他のところには行かないと言う傾向があるが、私たち海洋教育デザイナーの目標としているのは自らが動くことなので、他団体との交流（ハブになると言う目的）も実行委員や卒業生それぞれが作り上げている。
- ・実行委員のメンバー構成が多彩。ダイバーで海の専門家もいればデザイナーやウェブマスターもいる。テレビ局出身者もいれば、イベント制作会社や大学准教授や事務方、さらには再エネ関連の人間もいる。複雑なメンバー構成が講座を画一的にしない強みだと考えている。
- ・単なる市民講座、生涯学習ではなく各年度の最終回は「それであなたは海洋教育デザイナーとして具体的に何をしていますか」と言う問いかけを通しどんなに小さな事でも自らが動けるよう後押しをしている。
- ・横浜市民の半分が毎日ひとつ路上にあるゴミを拾えば毎日180万個のゴミが海に流れ出ることを防げます。どんなに小さい事でも市民ひとりひとりが大変じゃなくできることを継続する、このことの大切さを発足以来実行委員会は伝え続けています。

講座一覧 [2014.8-2019.3]

2014年度

- 8月28日 いま海で起きている事ってなんですか? (東京海洋大学/佐々木剛准教授)
- 9月11日 私たちの海について語る (実行委員会)
- 10月9日 海と人をつなぐ様々な活動について学ぼう (関東学院大学/中津秀之准教授、元横浜市環境創造局環境科学研究所/石井彰氏)
- 10月23日 水圏リテラシーと教育 (東京海洋大学/佐々木剛准教授)
- 11月6日 魚食文化～さかなを正しくいただくということ～ (横浜中央卸売場理事/坪倉良和氏、料理家/園光博敏氏)
- 11月20日 うみから見たまちづくり。うみを見るまちづくり～インナーハーバー構想について学ぼう～ (建築家/佐々木龍郎氏、横浜中央卸売場/坪倉良和氏、横浜市都市整備局企画部都市デザイン室/桂有生氏)
- 12月4日 うみをみる・うみからみる 大さん橋で棧橋を考える。水上の活用を考えよう (東京海洋大学/清水悦郎准教授、NPO法人濱橋会/小林直樹氏、横浜市都市整備局都心再生課/渡邊伸郎担当課長)
- 12月18日 海族ミーティング① (実行委員会)
- 1月15日 海族ミーティング② (実行委員会)
- 1月29日 海族ミーティング③ (実行委員会)
- 2月11日 神奈川海を見るフィールドワーク (実行委員会)
- 2月12日 海族ミーティング④ (実行委員会)
- 2月15日 子安浜海から見るフィールドワーク (実行委員会)
- 2月26日 海族ミーティング⑤ (実行委員会)

2015年度【前期】

- 6月4日 うみをみる 神奈川の海を知る (NPO法人ディスカバーブルー代表理事、横浜国立大学総合的海洋教育・研究センター特任教員/水井涼太氏)
- 6月18日 ヨコハマのみなとからみる、港のいままでとこれから (元横浜市港湾局勤務/永田隆氏)
- 7月2日 うみのなかをみる、私たちの知らないうみのなか (金沢臨海サービス/座間吉成氏)
- 7月16日 アクティビスト講座① 取り組みたいことを見つけよう (金沢臨海サービス/座間吉成氏)
- 7月30日 アクティビスト講座② 海族大喜利 (実行委員会)・写真ミニ講座 (写真家/西沢千晶氏)
- 9月3日 アクティビスト講座③ 伝える技術 (NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ/宮島真希子氏)
- 9月17日 海族編集会議 (NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ/

- 宮島真希子氏)
- 9月24日 横浜市のブルーカーボンへの取り組みP-1 (横浜市温暖化対策統括本部/大島貴至係長)
- 10月8日 インタープリテーション (帝京科学大学/古瀬浩史教授)
- 10月22日 海族編集会議・続 (NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ/宮島真希子氏)

2015年度【後期】

- 11月5日 横浜の海で遊ぶ (横浜市立大学研究員/石井彰氏)、プランクトンを見よう (NPO法人ディスカバーブルー代表理事、横浜国立大学総合的海洋教育・研究センター特任教員/水井涼太氏)
- 11月19日 海をめぐる私たちのゴミ (一般社団法人JEAN理事/小島あずさ氏)
- 12月3日 横浜港の海上清掃について～みんなで港を美しく (一般社団法人横浜港清浄会専務理事/新堀晴司氏、横浜市のブルーカーボンへの取り組みP-2 (横浜市温暖化対策統括本部/大島貴至係長)
- 12月17日 山下公園前面海域の白紙ジオラマに思いを描こう (横浜市立大学研究員/石井彰氏)
- 1月7日 プロジェクトを実現するためのポイント (NPO法人ディスカバーブルー代表理事、横浜国立大学総合的海洋教育・研究センター特任教員/水井涼太氏)
- 1月21日 プロジェクトを実現するために (金沢臨海サービス/座間吉成氏)、思いを形にするプロジェクトデザイン (東京海洋大学/川名優孝准教授)
- 2月4日 映画「放射能を浴びたX年後」の監督、伊東さんをお呼びして～ (南海放送ディレクター/伊東英朗氏)
- 2月18日 アクティビスト講座④ プロジェクトメイキング (実行委員会)
- 3月3日 アクティビスト講座⑤ プロジェクト化を目指す (実行委員会)
- 3月17日 活動成果発表 (実行委員会)

2016年度【前期】

- 6月2日 海との親しみ方、海の楽しみ方を知る (横浜海の公園ライフベビングクラブ 事務局長・株式会社金沢臨海サービス 事業開発プロジェクトリーダー/座間吉成氏、NPO法人海編路/八幡純氏)
- 6月16日 海に関わる基礎知識を学ぶ「神奈川の海、生物のことなど」 (横浜国立大学 総合的海洋教育、研究センター特任教員(講師)/水井涼太氏)
- 7月7日 横浜の海を知る+7月7日は水辺で乾杯!! (横浜市立大学研究員・世界トリアスロンシリーズ

- 横浜大会組織委員会環境アドバイザー/石井彰氏)
- 7月21日 海とソーシャル/バージョン概説 (東京海洋大学産学・地域連携推進機構/川名優孝准教授)
- 9月1日 海に関わる課題について考える (実行委員会)
- 9月3日 アクティビティ・磯の生物観察会 (NPO法人ディスカバーブルー代表理事/水井涼太氏)&ロックバランシング (横浜石花会/石花かねぎ・金木伸浩氏)
- 9月15日 海に関わる課題について考える・続 (実行委員会)
- 10月6日 海族=海洋教育デザイナー育成講座④ (実行委員会)
- 10月20日 アクティビティ・大岡川ナイトクルーズ (実行委員会)

2016年度【後期】

- 11月17日 ヨコハマの海を知る～ヨコハマインナーハーバーを事例とした港湾における街づくり (横浜国立大学/野原卓准教授)
- 12月1日 「灯台どうだい?」(フリーペーパー「灯台どうだい?」編集長/不動まゆ氏)
- 12月15日 ヨコハマの海における海洋環境向上への取り組みとヨコハマの海の基礎知識 (横浜市立大学研究員・世界トリアスロンシリーズ 横浜大会組織委員会環境アドバイザー/石井彰氏、横浜国立大学総合的海洋教育・研究センター特任教員(講師)・特定非営利活動法人ディスカバーブルー代表理事/水井涼太氏)
- 1月19日 海族=海洋教育デザイナー育成講座⑤ (実行委員会)
- 2月2日 海族=海洋教育デザイナー育成講座⑥ (実行委員会)
- 2月26日 アクティビティ・金沢八景の海を調査せよ! & たらふく食べる牡蠣小屋懇親会 (実行委員会)
- 3月16日 海族=海洋教育デザイナー育成講座 (実行委員会)

2017年度【前期】

- 6月1日 神奈川の海を知る (NPO法人ディスカバーブルー 代表理事、横浜国立大学 総合的海洋教育・研究センター 特任教員/水井涼太氏)
- 6月11日 アクティビティ・パーク&懇親会 (実行委員会)
- 6月15日 横浜の海を知る (さあ、行こう 1、2、3!) (横浜市立大学研究員・世界トリアスロンシリーズ 横浜大会組織委員会環境アドバイザー/石井彰氏)
- 6月29日 海をめぐる私たちのゴミ (一般社団法人JEAN事務局長/小島あずさ氏)
- 7月13日 失われつつある沖縄の海の自然 (ダイビングチームすなっくスナフキンメンバー/小淵正美氏)
- 7月27日 知ってびっくり目からウロコのマグロ講座 (株式会社西松専

- 務取締役/相原宏介氏)
- 8月5日 アクティビティ・うみ博&大さん橋見学ツアー&サンセットビクニック (実行委員会)
- 8月31日 岸壁採集家が語る“足元の海”の魅力 (海あそび塾塾長、(株)カリブ・コラボレーション代表取締役/鈴木香里武氏)
- 9月9日 アクティビティ・磯の生物観察会 (NPO法人ディスカバーブルー代表理事/水井涼太氏)&ロックバランシング (横浜石花会/石花かねぎ・金木伸浩氏)
- 9月21日 ミズベリング横浜会議 (建築家、一級建築士/岩本唯史氏)
- 10月5日 こうなったらいいな。ヨコハマの海 (実行委員会)

2017年度【後期】

- 11月9日 きれいな海づくりから豊かな海づくりへ (横浜市環境創造局政策調整部長/高橋俊和氏)
- 11月23日 アクティビティ・横浜港灯台クルーズ(「灯台どうだい?」編集長/不動まゆ氏)
- 12月7日 江戸の水路の魅力を伝える (株式会社フローティングライフ <舟遊びみづは運営会社>代表取締役・オーナー/佐藤美穂氏)
- 12月21日 市民の海辺開放大作戦! & 海族忘年会 (富岡並木ふなだまりgionbune公園愛護会会長/赤澤寧氏、関東学院大学建築・環境学部 建築・環境学科/中津秀之准教授)
- 1月11日 八景島～みなとみらいへと続く、横浜ウォーターフロントの変遷 (復建調査設計株式会社東京支社横浜事務所顧問、元横浜市職員/北村圭一氏)
- 1月25日 凄腕フレンチシェフが語る海族料理～身体は食べたもので作られる～ (フランス料理人/園光博敏氏)
- 2月10日 アクティビティ・山と海のつながりを知る@小網代の森&海の楽しみ作戦会議 (実行委員会)
- 2月22日 続・海の楽しみ作戦会議～横浜計画発動! (実行委員会)
- 3月10日 アクティビティ・東京湾唯一の無人島 猿島大冒険!! (実行委員会)
- 3月22日 海族アクションプランのスーパープレゼンテーション (実委員会)

2018年度【前期】

- 6月7日 知ることからはじまる、海と人との共存社会 (NPO法人ディスカバーブルー代表理事/水井涼太氏)
- 6月21日 旅するペリコ～テラスが担うクリエイティブな街づくり～ (象の鼻テラスアートディレクター/岡田勉氏)
- 7月5日 「時の港」象の鼻パーク生みの親から聞く誕生秘話あれこれ (復建調査設計株式会社東京支社横

- 濱事務所顧問、元横浜市職員/北村圭一氏)
- 7月19日 海中デザイン～ヨコハマの海の中で起きていること～ (横浜市立大学研究員・世界トリアスロンシリーズ 横浜大会組織委員会環境アドバイザー/石井彰氏)
- 8月2日 未知ギョとの遭遇 [横浜港編]～東京湾“初”記録とは?～ (白梅学園短期大学講師、博士(農学)/宮崎佑介氏)
- 8月23日 アクティビティ・海族フレンドシップBBQ (実行委員会)
- 8月30日 アウトドアスキルを生きるチカラに!～火と水を得る編～ (アウトドアライフ・ドバイザー/寒川一氏)
- 9月8日 アクティビティ・真鶴町編 磯の生物観察会 (NPO法人ディスカバーブルー代表理事/水井涼太氏)&ロックバランシング (横浜石花会/石花かねぎ・金木伸浩氏)
- 9月13日 ミズベリング横浜会議～横浜の水辺の都市戦略を描こう!～ (「ミズベリング」ディレクター ラーデザイン建築設計事務所代表/岩本唯史氏)
- 9月27日 海洋教育デザイナー講座入門編～海力をつけよう～ (実行委員会)

2018年度【後期】

- 10月25日 かながわの海～海とそれを取り巻く社会 (NPO法人ディスカバーブルー代表理事/水井涼太氏)
- 11月8日 ほくらは地方で幸せを見つける～「関係人口」のつくり方(「月刊トコト」編集長/指出一正氏)
- 11月23日 アクティビティ・灯台150年・灯台女子不動まゆさんへ行く 観音燈台ツアー(フリーペーパー「灯台どうだい?」編集長/不動まゆ氏)
- 12月6日 ふねのゼロエミッション化・自動運転化に向けた世界の動き (東京海洋大学/清水悦郎教授)
- 12月20日 横浜、海のある風景～インスタジェニックな写真の撮り方 (横浜風景カメラマン/西沢千晶氏)
- 1月10日 横浜のアクティビスト大集合!～それぞれの水辺クロストーク (一般社団法人横浜西口エリアマネジメント事務局/石幡勝氏、KOKOPELLI+ 代表/寺田浩之氏)
- 1月24日 ニッポンの水産業のミライ (東京海洋大学/勝川俊雄准教授)
- 2月9日 アウトドアスキルを生きるチカラに～実践編(アウトドアライフ・ドバイザー/寒川一氏)
- 2月21日 開港都市のアイデンティティを生かした都市発展へ～横浜独自の都市デザイン施策 (横浜市立大学GCCIシニアアドバイザー/国吉直行氏)
- 3月7日 こうなったらいいな、横浜の海Vol.2～SDGsから考えよう (実行委員会)

ヨコハマ海洋市民大学

学校案内

うみをみる、うみからみる、うみのなかをみる
じぶんがきづく、みんなでうごく、せかいがかわる



※上記の講座リストは実行委員会の記録によるものです。講師の役職等は実施当時のものです。予めご了承ください。

ヨコハマ海洋市民大学

HP <https://yokohamakaiyouuniv.wixsite.com/kaiyo>
 FB <https://www.facebook.com/kaiyoshimindai/>
 ✉ yokohama.kaiyo.univ@gmail.com

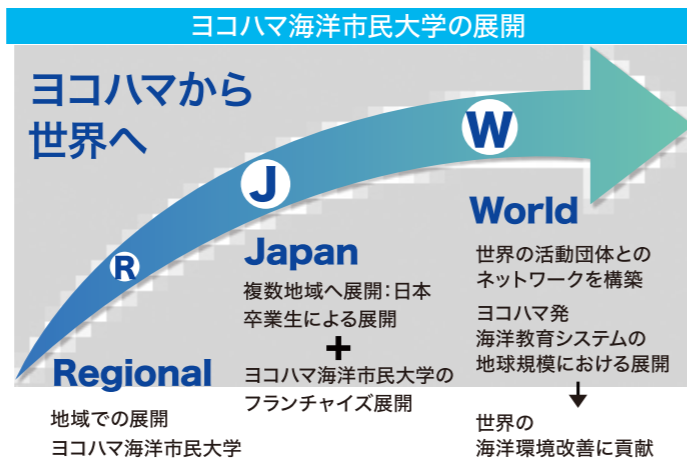


海と家族になろう

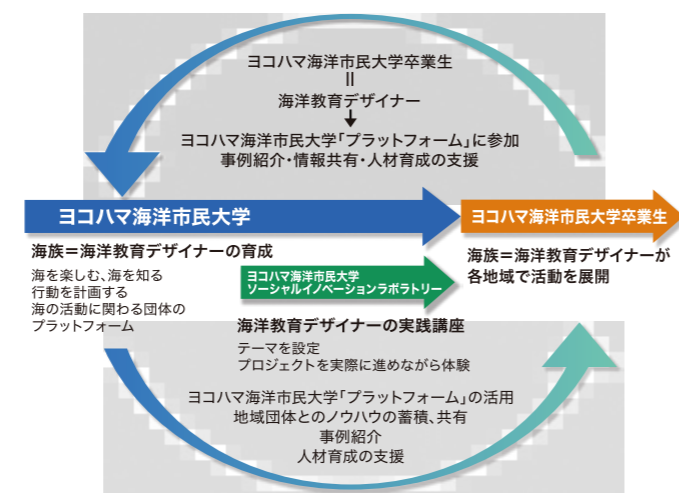
ヨコハマ海洋市民大学が目指すもの UMIZOKU=海洋教育デザイナーとは

ヨコハマ海洋市民大学は、「海と共に生きること」に関心が高い人々が集まる市民大学です。海のためにできることを学び、問題解決に向けて横浜から各地域で自ら行動を起こしていく人材=海洋都市づくりリーダー（海洋教育デザイナー）の育成を目指しています。また、同じ目標を持った人と人を繋ぎ、海に関わる人々のプラットフォームとして機能することを目的としています。海と家族（海族）になり、海と人が幸せに暮らす街づくりと一緒に実現させましょう。

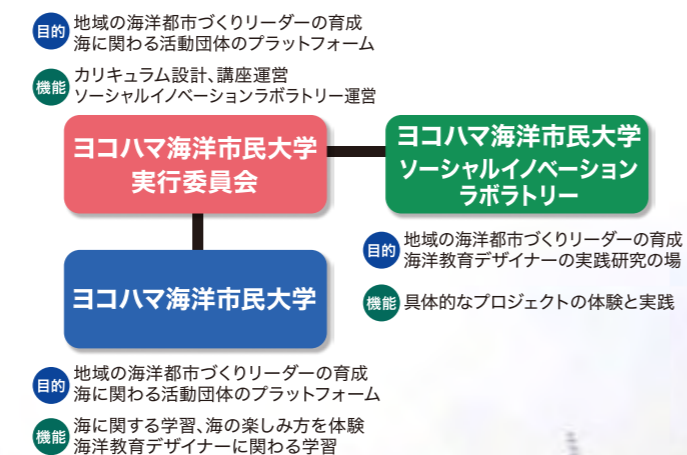
海のソーシャルイノベーター
海族の育成プロジェクトの実現 → 世界がかわる



ヨコハマ海洋市民大学海洋教育デザイナー育成イメージ



ヨコハマ海洋市民大学運営体制



座学とフィールドワークで、海を取り巻く問題を見る・知る・気づく!

海の勉強会ってどんなイメージですか?最近だとマイクロプラスチックの環境系?それとも生物系?でも生物といってもたくさん種類がありますよね。また環境といっても海だけで改善はできません。なぜなら陸とつながっていますから。そして海の遊びのこと忘れていませんか?さらに海で働く人たちはどんなこと考えて仕事しているんでしょう?「ヨコハマ海洋市民大学」には、「海族」が毎日さまざまな海を知るために集い、海を我がものとするため勉強に勤めています。

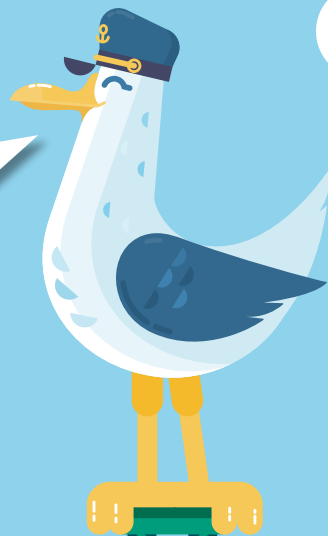


2019年度 受講生大募集!

前半6月6日(木)~9月26日(木)

全20回(前半・後半各10回)

隔週木曜日19:30~21:10



5.23^木
ガイダンス

6.6^木
開講!

今期も象の鼻テラスが会場です!

ヨコハマ 海洋市民大学

うみをみる、うみからみる、うみのなかをみる
じぶんがきづく、みんなでうごく、せかいがかわる

主催: ヨコハマ海洋市民大学実行委員会
共催: 象の鼻テラス
協力: 東京海洋大学 産学・地域連携推進機構、横浜市立大学、NPO法人
ディスカバーブルー、濱橋会、ルーデンス株式会社、ハマの海を想う会
後援: 横浜市、海洋都市横浜うみ協議会
お問合せ: ヨコハマ海洋市民大学実行委員会 事務局
yokohama.kaiyo.univ@gmail.com



ヨコハマ海洋市民大学は横浜の海に想いのある人が集まり海の学びの場を作ろうと2014年8月に大さん橋でスタートしました。2019年度も象の鼻テラスで6月6日に開講します。座学やワークショップ、フィールドワークなどを通して、横浜の海の環境や歴史などはもちろん、海の楽しみ方も学べます! 気づいたら、周りには一緒に海を楽しむ仲間がたくさん! この横浜の海を思いっきり楽しみたい人、ご参加お待ちしております!

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



前半6月6日(木)～9月26日(木)

全20回(前半・後半各10回)隔週木曜日19:30～21:10



海を知ることのできる 学びの場です!

海の世界、生き物、人と海の関係、ヨコハマの海、海が抱える課題など、海を様々な角度から知ることができます。座学&ワークショップで、きっと目からウロコの気づきがあります!

海のアクティビティや イベントも盛りだくさん

実際に海と親しむプログラムも用意しています。また、海に関するイベントに関わることで、地域や関係者との交流やノウハウも学べます。

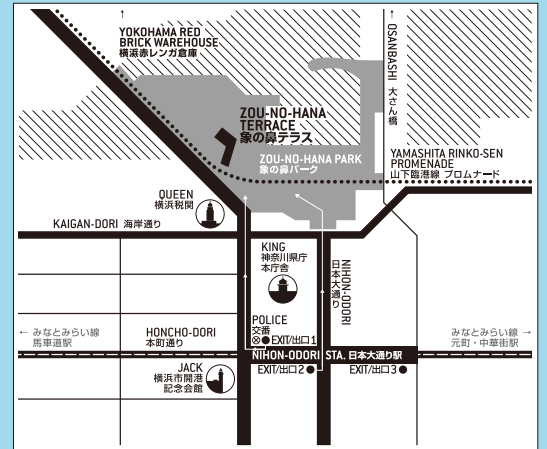


海洋教育 デザイナーになろう!

「海」をキーワードに、自分で課題を認識、行動し、さらに広がりを作ることができる「地域の海洋都市づくりのリーダー」＝「海洋教育デザイナー」の育成を目指しています。



講座日程: 全20回(前半・後半各10回)隔週木曜日(原則)
時間: 19時30分～21時10分
場所: 象の鼻テラス(象の鼻パーク内)
参加方法: HPの登録フォームからお申し込みください
受講料: 全20回一括…16,000円
前・後半の分納、1回ごとの受講も可能です。
分納10回…9,000円、1回…一般1,000円
(大学生半額、高校生以下は無料)



みなとみらい線「日本大通り駅」出口1より徒歩3分、出口2より徒歩5分
〒231-0002横浜市中区海岸通り1丁目
※都合により会場は変更になる場合があります。

多彩な講師陣!

今期もいろいろな分野の専門家を迎え、様々な視点から海の楽しさはもちろん、海の現状や横浜の海の課題などを学びます。



日程	分類	内容	講師
6月6日(木)		知ることから始まる、海と人との共存社会	NPO法人ディスカバーブルー 代表理事 水井涼太
6月15日(土)		海族(うみぞく)Welcome Party～海辺のBBQ!	実行委員会
6月20日(木)		「たべるを、たのしく」～さかなメダリスト誕生秘話	初代さかなメダリスト 水島綾子
7月4日(木)		象の鼻テラス開館10周年記念展「フューチャースケープ・プロジェクト」10秒から10年までの「あったらいいな」と思う100プログラム(予定)	象の鼻テラス アートディレクター 岡田 勉
7月18日(木)		津波が横浜を襲ったらどうする!?あなたにだけは助かってほしいから	大船渡津波伝承館 館長 齊藤賢治
8月1日(木)		次代を構想しよう～"港・ミナト・みなと"を介して、横浜は、何を提供できるか? 横浜内へ、横浜外へ	横浜市立大学客員教授 国吉直行
8月29日(木)		プラスチックによる海洋汚染～私たちにできるプラごみ対策を考える	一般社団法人JEAN 理事 小島あずさ
8月31日(土)		真鶴・磯の生物観察&ロックバルンシング講座	NPO法人 ディスカバーブルー 水井涼太 ロックバルンサー 石花かねぎ 代表理事
9月12日(木)		トークセッション SDGs推進は『目的』ではなく『手段』!～今見直すSDGsの本質	株式会社大川印刷 代表取締役社長 大川哲郎 神奈川新聞「SDGs 横浜の挑戦」編集長 春名義弘
9月26日(木)		どこから手をつけましたか?～海族(うみぞく)のSDGs	実行委員会

海を知る 海を考える 海と親しむ 海洋教育デザイナー養成講座

※講座日程、講師、講座内容については、都合により変更になる場合があります。最新情報はHP、FBページで随時更新します。
※6月15日(土)、8月31日(土)の野外アクティビティは受講料とは別に、実費をご負担いただきます。
※全講座20回のうち14回以上、受講された方は海洋教育デザイナーとして認定されます。12回以上の受講で修了書を差し上げます。

お申し込み、お問合せはHPから

ヨコハマ海洋市民大学 <https://yokohamakaiyouniv.wixsite.com/kaiyo>

FBページ【ヨコハマ海洋市民大学】 <https://www.facebook.com/kaiyoshimindai>

ホームページの登録フォームからお申し込みください。※お預かりした個人情報は、ヨコハマ海洋市民大学及び関連する連絡以外には使用しません。



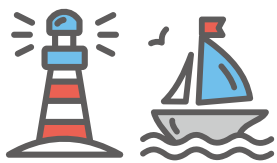
Instagram



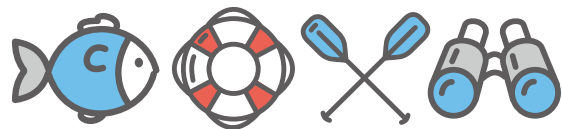
ホームページ

ヨコハマ

海洋



市民大学



うみをみる、うみからみる、うみのなかをみる
じぶんがきづく、みんなでうごく、せかいがかわる

後期も象の鼻テラスが会場です!



Photo: Katsuhiko Ichikawa

ヨコハマ海洋市民大学は横浜の海に想いのある人が集まり海の学びの場を作ろうと2014年8月に大さん橋でスタートしました。2019年度後半も象の鼻テラスで10月24日に開講します。座学やワークショップ、フィールドワークなどを通して、横浜の海の世界や歴史などはもちろん、海の楽しみ方も学べます!気づいたら、周りには一緒に海を楽しむ仲間がたくさん!この横浜の海を思いっきり楽しみたい人、ご参加お待ちしております!

主催: ヨコハマ海洋市民大学実行委員会

共催: 象の鼻テラス

協力: 東京海洋大学 産学・地域連携推進機構、横浜市立大学、NPO法人ディスカバーブルー、濱橋会、ルーデンス株式会社、ハマの海を想う会

後援: 横浜市、海洋都市横浜うみ協議会

お問合せ: ヨコハマ海洋市民大学実行委員会 事務局
yokohama.kaiyo.univ@gmail.com



2019年度後半 受講生大募集!

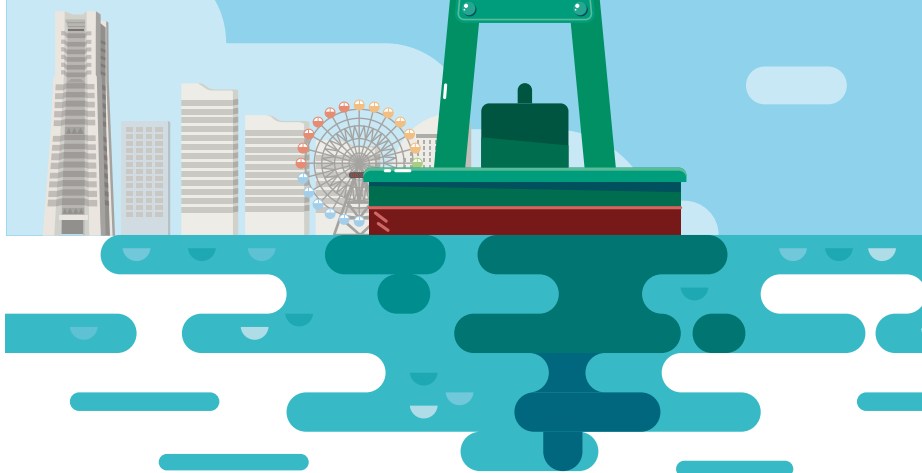
後半10月24日(木)~3月5日(木)
全10回 隔週木曜日19:30~21:10

ガイダンス
10.10
木

後半
スタート
10.24
木



1
かながわ



後半10月24日(木)～3月5日(木)

後半全10回 隔週木曜日19:30～21:10



海を知ることのできる 学びの場です!

海の世界、生き物、人と海の関係、ヨコハマの海、海が抱える課題など、海を様々な角度から知ることができます。座学&ワークショップで、きっと目からウロコの気づきがあります!

海のアクティビティや イベントも盛りだくさん

実際に海と親しむプログラムも用意しています。また、海に関するイベントに関わることで、地域や関係者との交流やノウハウも学べます。



海洋教育 デザイナーになろう!

「海」をキーワードに、自分で課題を認識、行動し、さらに広がりを作ることができる「地域の海洋都市づくりのリーダー」＝「海洋教育デザイナー」の育成を目指しています。



講座日程: 後半全10回 隔週木曜日(原則)

時間: 19時30分～21時10分

場所: 象の鼻テラス(象の鼻パーク内)

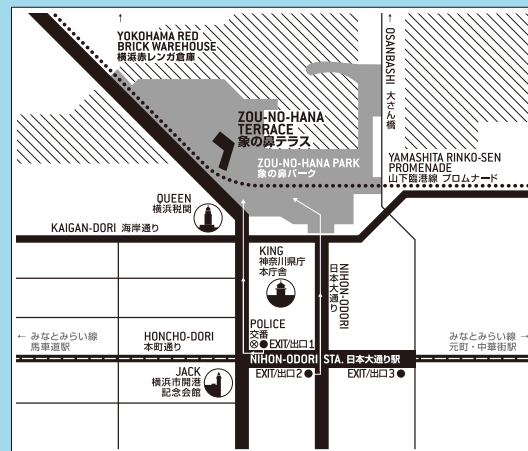
参加方法: HPの登録フォームからお申し込みください

受講料: 全10回 一括…9,000円

各回ごとの受講も可能です。

1回…一般1,000円

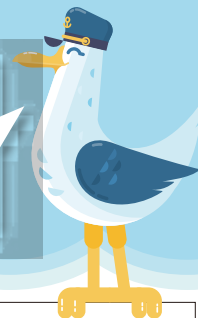
(大学生500円、高校生以下は無料)



みなとみらい線「日本大通り駅」出口1より徒歩3分、出口2より徒歩5分
〒231-0002横浜市中央区海岸通り1丁目
※都合により会場は変更になる場合があります。

多彩な講師陣!

今期もいろいろな分野の専門家を迎え、様々な視点から海の楽しさはもちろん、海の現状や横浜の海の課題などを学びます。



日程	分類	内容	講師
10月24日(木)		ほら。地球のために～エコとは人を愛する気持ち～	かんきょうデザインプロジェクト 代表 武松 昭男
11月7日(木)		青い地球(ほし) 生命の物語	水中写真家 鍵井 靖章
11月23日(土)		灯台女子・不動まゆうさんと行く灯台めぐり(場所調整中)	フリーペーパー「灯台どうだい?」編集長 不動 まゆう
12月5日(木)		かながわの海～海とそれを取り巻く社会	NPO法人ディスカバーブルー代表理事 水井 涼太
12月19日(木)		2020へ向けて、それぞれの活動を語り合おう!&ほぼぼ忘年会	実行委員会
1月9日(木)		珪藻の世界～ミクロのガラスアート	マイクロワールドサービス 代表 奥 修
1月23日(木)		横浜岸壁リサーチクルーズ	横浜市立大学研究員 石井 彰
2月8日(土)		海とエネルギーのはなし～市民がつくる新しい社会～&明治丸見学	東京海洋大学大学院教授 刑部 真弘
2月20日(木)		続々開港都市のアイデンティティを生かした都市発展 ヨコハマ海洋市民大学が提案する次代の横浜港構想	横浜市立大学客員教授 国吉 直行
3月5日(木)		こうなったらいいな、横浜の海 Vol.3	実行委員会

海を知る

海を考える

海と親しむ

海洋教育デザイナー養成講座

※講座日程、講師、講座内容については、都合により変更になる場合があります。最新情報はHP、FBページで随時更新します。

※11月23日(土)、2月8日(土)の野外アクティビティは受講料とは別に、実費をご負担いただきます。

※全講座20回のうち14回以上、受講された方は海洋教育デザイナーとして認定されます。12回以上の受講で修了書を差し上げます。

お申し込み、お問合せはHPから

ヨコハマ海洋市民大学 <https://yokohamakaiyouniv.wixsite.com/kaiyo>

FBページ【ヨコハマ海洋市民大学】 <https://www.facebook.com/kaiyoshimindai>

ホームページの登録フォームからお申し込みください。※お預かりした個人情報は、ヨコハマ海洋市民大学及び関連する連絡以外には使用しません。



Instagram



ホームページ

今期のテーマは
「海と食」
月イチ、オンラインで会いましょう

6月3日(木)開講!

海はひろいぞ おいしいぞ

2021年度前期
受講生募集中



ヨコハマ
海洋
市民大学



ZOOMによるオンライン開催です。(19:30スタート)
参加費: 各回500円 (Peatixの登録・お申し込みが必要です)



日程	分類	内容	講師
6月3日(木)		知って、はじめる 海のためにできること	水井 涼太 特定非営利活動法人ディスカバーブルー代表理事 × 水島 綾子 イソムリエ、さかなメダリスト
7月1日(木)		お魚マイスター、横浜市場卸売 プロが教える美味しいお魚について	齋藤 融 横浜丸魚株式会社 マーケティング部次長 おさかなかたりべ、おさかなマイスター
8月5日(木)		海的环境や水産物にせまる危機、 私たちにできることを考える	滝本 麻耶 WWFジャパン 気候エネルギー・海洋水産室 海洋水産グループ パブリックアウトリーチオフィサー
9月2日(木)		海のサステナブルについて考える	ながさき 一生 さかなプロダクション&さかなの会 代表 おさかなコーディネーター/ライター
10月7日(木)		海洋教育デザイナー養成講座	実行委員会

海を知る 海を考える 海と親しむ 海洋教育デザイナー養成講座

ヨコハマ海洋市民大学 [検索](https://yokohamakaiyouuniv.wixsite.com/kaiyo) <https://yokohamakaiyouuniv.wixsite.com/kaiyo>

Facebook [FBページ【ヨコハマ海洋市民大学】](https://www.facebook.com/kaiyoshimindai) <https://www.facebook.com/kaiyoshimindai>

※HP、FBイベントページのリンクからPeatixの登録、お申し込みが必要です。

※講座日程、講師、講座内容については、都合により変更になる場合があります。

最新情報はHP、FBページで随時更新します。

※お預かりした個人情報は、ヨコハマ海洋市民大学及び関連する連絡以外には使用しません。

主催: ヨコハマ海洋市民大学実行委員会
協力: 東京海洋大学 産学・地域連携推進機構、
横浜市立大学、NPO法人ディスカバー
ブルー、濱橋会、ルーデンス株式会社
後援: 横浜市、海洋都市横浜うみ協議会
お問合せ: ヨコハマ海洋市民大学実行委員会 事務局
yokohama.kaiyo.univ@gmail.com



Instagram



ホームページ

後期のテーマは
「海と人と」
月イチ、オンラインで会いましょう

11月4日(木)開講!

海はひろいぞ たのしいぞ

2021年度後期
受講生募集中



ヨコハマ
海洋
市民大学



主 催:ヨコハマ海洋市民大学実行委員会
協 力:東京海洋大学 産学・地域連携推進機構、
横浜市立大学、NPO法人ディスカバー
ブルー、濱橋会、ルーデンス株式会社
後 援:横浜市、海洋都市横浜うみ協議会
お問合せ:ヨコハマ海洋市民大学実行委員会 事務局
yokohama.kaiyo.univ@gmail.com

ZOOMによるオンライン開催です(19:30スタート)

参加費:各回500円(最終回無料)※Peatixの登録・お申し込みが必要です。

日 程	分類	内 容	講 師
11月4日(木)		知ることから始まる 海と人との共存社会	水井 涼太 ダイバー兼海辺のソーシャルアントレプレナー 特定非営利活動法人法人ディスカバーブルー 代表理事 横浜国立大学非常勤講師 地域力創造アドバイザー(総務省 地域人材ネット)
12月2日(木)		年間500本潜るダイバーと学ぶ 湘南波の下 水族館	佐藤 輝 ダイビングショップNANA 代表
1月13日(木)		日本の灯台の父 R.H.ブランドンと横浜	不動 まゆう 『灯台どうだい?』編集長
2月3日(木)		横浜・街と海の暮らしとモビリティ	国吉 直行 横浜市立大学客員教授 二見 徹 DeNAフェロー
3月3日(木)		海洋教育デザイナー養成講座	実行委員会

海を知る 海を考える 海と親しむ 海洋教育デザイナー養成講座

ヨコハマ海洋市民大学 [検索](https://yokohamakaiyouniv.wixsite.com/kaiyo) <https://yokohamakaiyouniv.wixsite.com/kaiyo>

Facebook [FBページ【ヨコハマ海洋市民大学】](https://www.facebook.com/kaiyoshimindai) <https://www.facebook.com/kaiyoshimindai>

※HP、FBイベントページのリンクからPeatixの登録、お申し込みが必要です。

※講座日程、講師、講座内容については、都合により変更になる場合があります。

最新情報はHP、FBページで随時更新します。

※お預かりした個人情報、ヨコハマ海洋市民大学及び関連する連絡以外には使用しません。



Instagram



ホームページ



2020年(令和2年)度 講座概要

2020年度は新型コロナウイルス対応の為、リアルに開講できない状態が続いております。そこで、Zoomミーティングを利用したオンライン講座を実施しました。

2020年度前半講座

ガイダンス 6/4(木) 拡大実行委員会Zoomミーティング

第1回 6/18(木) 齊藤賢治氏Zoomミニ講座「コロナ禍、こんな時だから話そう！私の震災体験」

第2回 7/2(木) 国吉直行氏Zoomミニ講座「Zoomないしょ話 新旧横浜市役所庁舎物語」

第3回 7/16(木) 不動まゆう氏Zoomミニ講座「灯台どうだい？特別講座 日本と世界の灯台たち」

第4回 9/3(木) 縣 拓也氏Zoomミニ講座 海女と真珠が輝く海 ～海の博物館の魅力を添えて～

第5回 9/3(木) 松永 昭吾氏Zoomミニ講座 ライフスタイルと災害 ～土木技術者が語る自然を感じる事の大切さ～

2020年度後半講座

第1回 10/22(木) 「知ることから始まる、海と人との共存社会」/ 特定非営利活動法人ディスカバーブルー代表理事 水井涼太氏

第2回 11/5(木) 「チリモンの見分け方と、チリモンのちょっと面白いお話」/ 大阪自然環境保全協会 対外自然協力隊チリモン担当責任者 西田百代氏

第3回 12/17(木) 「再生可能エネルギーと海～洋上風力発電のおはなし」/(一社) 社会科学研究機構理事、立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員(ソーシャルデザイン・ジェロントロジー)三上己紀氏

第4回 1/21(木) 「津波伝承館が世界に向けて発信する大船渡の魅力～震災10年で新たな展開～」/大船渡津波伝承館 館長齊藤賢治氏、大船渡市地域おこし協力隊のプロヴォ・イザベル氏

第5回 2/18(木) 「SDGsと食生活～やっててわかった！水産のムジュン！！～」/(株) 西松 専務取締役 相原宏介氏

第6回 3/18(木) 「関内外地区はどこを目指すべきか！Creativeな生活都市を目指す他都市などにも学び考える」/横浜市立大学 客員教授・横浜市都市美対策審議会委員 国吉直行氏